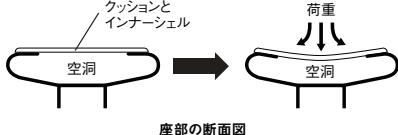


ペンディングシート

座面内部は空洞で、細かいスリットを入れたインナーシェルを左右から吊った構造になっています。荷重に合わせて座面が自然にたわみ、体重を適度に分散して支えます。血行を妨げず、安定した座り心地です。また、スリットから体温を発散し、ムレを防ぎます。



クッションとインナーシェル

空洞

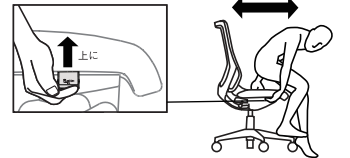
座部の断面図

荷重

空洞

座の奥行き調節機構

座面の奥行きは16.7mmピッチで4段階、前後50mmの範囲で調節できます。必ず腰を浮かして、座面前方部(右側)の座面前後調節レバーを上へ引いたまま、座面を前後に動かしてください。好みの位置でレバーを戻し、固定してください。



点検

⚠️注意

ボルトやネジがゆるんだままで使用すると、本体がこわれてけがをすることがあります。

ネジのゆるみ

使用中にボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じた時は、増し締めをしていただくことが長持ちの秘訣です。早めの増し締めをお願いします。

異音の発生

ロッキング部やキャスターから異音が生じた時は、ただちに使用をやめ、お買求めの販売店にご連絡ください。

お手入れ

背もたれ・座面の裏部、脚部のお手入れ

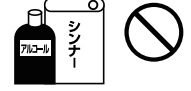
きれいな布を水にぬらし、固く絞ってふいてください。汚れのひどい時には、うすめた中性洗剤溶液でおふきください。シンナー、アルコール類の使用は避けてください。変色や劣化する場合があります。

⚠️

アルミ材をお手入れの際は、乾いた布で水分をふき取ってください。水分が付着したまま放置すると、さびや変色の原因となります。

布地・クッション部のお手入れ

電気掃除機でほこりを吸いとってください。クッション部の汚れがひどい場合には、新しいクッションとの交換をおすすめします。



快適にお使いいただくため、メンテナンスをお願いいたします。

5 故障かな?と思ったら

現象	ご対応
キャスターが転がりすぎる。	●Pタイル等の硬質の床面では、ゴム単輪又は抵抗付ウレタン双輪キャスターをご使用ください。
座が下がらない。	●ガス上下調節レバーを操作する時、座面の中央部に体重をかけていますか。●座面が最低位置になっていませんか。
座が上がらない。	●ガス上下調節レバーを操作する時、座面から腰を浮かせていますか。●座面が最高位置になっていませんか。
ガス上下調節レバーを操作しなくても座が下がる。	●ガス上下調節レバーを操作しない状態で座面が1〜2cm下がる現象は、タックリングといい、着座時の衝撃を緩和する上下ガスシリンダーに備わった機能です。
座面の奥行き調節ができない。	●座面前側に荷重がかかっていませんか。●座面の奥行きが一番短い状態もしくは長い状態になっていませんか。
ロッキングの固定ができない。	●ロッキング角度固定レバーが「カチツ」と音がするまで操作されていますか(半がかりの状態になっていませんか)。
ロッキング強弱調節ができない。	●背もたれが「初期状態でのみ強弱調節が可能です(背にもたれた状態や角度固定状態では調節できません)。●強弱調節は5段階です。5段階以上の操作はできません。
異常な音がる。	●ロッキング部やキャスターから異音が生じた時は、ただちに使用をやめ、お買求め先の販売店へご連絡ください。
クッション部の汚れが落ちない。	●「お手入れ」の処置をしても汚れが落ちないときは、新しいクッションもしくは縫製品とのパーツ交換をおすすめします。
背もたれ、座面にシワがある。	●長時間の着座など、使用状況によってはシワが発生することがあります。●生産のばらつきにより、微細なシワが生じることがあります。
左右のアジャスタブル肘の高さが違う。	●左右の調節段階(5段階)は一緒ですか。●調節段階が同じでも、生産のばらつきにより若干の高低差が生じる時があります。
左右のアジャスタブル肘の調節時の作動力が違う。	●お客様の体格によっては、左右の作動力が違うように感じる場合があります。●生産のばらつきにより、左右の作動力には若干の差が生じる時があります。

⚠️ 不具合が直らない場合は使用を中止し、お買上げ販売店までご連絡をお願いいたします。

6 品質表示

項目		機種							
		KF-91■○○ KF-91■○○(H) KF-91□○○(E)(X) KF-915○○(E)	KF-92■○○ KF-92■○○(H)	KF-93■○○ KF-93■○○(H) KF-93□○○(E)(X)	KF-94■○○ KF-94■○○(H)	KF-95■○○ KF-95■○○(H) KF-95□○○(E)(X) KF-955○○(E)	KF-96■○○ KF-96■○○(H)	KF-97■○○ KF-97■○○(H) KF-97□○○(E)(X)	KF-98■○○ KF-98■○○(H)
		ランバーサポートなし				ランバーサポート付			
		ロッキングレンジ調節		フリーロッキング		ロッキングレンジ調節		フリーロッキング	
寸法 (単位:mm)	幅 ※脚部除く	肘なし 480／ループ肘 600／アジャスタブル肘 630〜700／アルミ肘625							
	奥行き ※脚部除く	605〜655 (H X:630〜680)	590〜640 (H:615〜665)	605〜655 (H X:630〜680)	590〜640 (H:615〜665)	605〜655 (H X:630〜680)	590〜640 (H:615〜665)	605〜655 (H X:630〜680)	590〜640 (H:615〜665)
	高さ	925〜1040 (H:980〜1095) (E,X:1070〜1185)	855〜970 (H:910〜1025)	925〜1040 (H:980〜1095) (E,X:1070〜1185)	855〜970 (H:910〜1025)	925〜1040 (H:980〜1095) (E,X:1070〜1185)	855〜970 (H:910〜1025)	925〜1040 (H:980〜1095) (E,X:1070〜1185)	855〜970 (H:910〜1025)
	座面前縁の高さ	430 (430〜545)							
	重量 (単位:kg)	肘なし 13.0 (H:13.3)		12.8 (H:13.1)		13.3 (H:13.6)		13.1 (H:13.4)	
構造 部材	ループ型固定肘付	15.1 (H:15.4) (E:15.9) (X:16.2)		14.9 (H:15.2) (E:15.7) (X:16.0)		15.4 (H:15.7) (E:16.2) (X:16.5)		15.2 (H:15.5) (E:16.0) (X:16.3)	
	アジャスタブル肘付	15.0 (H:15.3) (E:15.8) (X:16.1)		14.8 (H:15.1) (E:15.6) (X:15.9)		15.3 (H:15.6) (E:16.1) (X:16.4)		15.1 (H:15.4) (E:15.9) (X:16.2)	
	アルミ肘付	17.2 (E:18.0)		—		17.5 (E:18.3)		—	
	背アウターフレーム	ポリアミド + ガラス							
	背インナーシェル	ポリアミド + ガラス							
表面加工	座アウターシェル	ポリプロピレン							
	座インナーシェル	ポリプロピレン							
	座受け部	金属〈鋼〉							
	肘掛け部	肘無し — ／肘付き ポリアミド + ガラス、ポリプロピレン、熱可塑性エラストマー(表皮材)、金属(アルミ)、ポリプロピレン+ウレタン+張り材							
	脚羽根部	ポリアミド + ガラス、金属(アルミ)							
張り材	脚支柱部	金属〈鋼〉							
	ハンガー部	ポリアミド + ガラス							
	ショルダーフレーム	ポリアミド + ガラス							
	ショルダークッション	ポリプロピレン + ウレタン + 張り材							
	ランバー部	ポリプロピレン、ポリアミド							
クッション材		エポキシポリエステル樹脂塗装							
張り材		PG, PV: ポリエステル100%(座・ショルダー)		JB, JV: 再生ポリエステル27%+ポリエステル73%(背)					
クッション材		ウレタンフォーム							

「家庭用品品質表示法」にもとづく表示

7 パーツ交換の方法

下記の部品は、ご使用者の手で交換できます。消耗、破損の際は、下記をよくお読みのうえ、部品を交換して末永くご使用ください。

⚠️ 安全上の注意事項

⚠️警告

交換するパーツ以外は触れないでください。ガスシリンダーやスプリングなど高圧パーツを分解するとけがをすることがあります。

⚠️注意

パーツを交換するときは座面を最高位にしてください。座面が急上昇して、けがをすることがあります。

⚠️注意

パーツ交換作業中は、手袋をしてください。指をはさむなど、けがをすることがあります。

注意の種類の規定:JOIFA（一般社団法人日本オフィス家具協会）による次のような危険性の規定に基づいています。

⚠️警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性があります。⚠️注意 取り扱いを誤ると傷害または物的損害が発生する可能性があります。

背メッシュの交換

■取り外し

- 背もたれの上方左右2ヶ所にある工具差込口に、(一)ドライバーを挿し込み手前にこじるように引いてキャッチを外します。
※(一)ドライバーを差し込む際は、ケガをする恐れがあるため、ゆっくりと差し込んでください。

- 背張加工品の上下を持ち、上方に外してください。

■取り付け

- 背張加工品の下部左右2ヶ所にある凸部を、背アウターフレームの下部左右2ヶ所にある凹部に差し込んで下さい。

- 背張加工品と背アウターフレームの中程を持って奥に倒してください。

- 背張加工品の上下を持ち、下方に引っ張って下さい。

- 背上端を斜め下方に倒しながら、背もたれの上方左右2ヶ所にあるキャッチをカチッと音が鳴るまではめて下さい。

- 背メッシュの取り付けが不備なく完了していることを確認してください。取り付けに不備がありますと、ケガをする恐れがあります。

座クッションの交換

縫製品の交換方法は、別途縫製品を購入された時に同梱されています
説明書をご参考ください。

■取り外し

- 座面を一番前に調整し、座面裏側中央のフックを押さえて手前に引き出します。

- 座面を上方に外します。

■取り付け

- 座受け部のキャッチ部と座面凹部を合わせます。
- 座面を押さえながらカチッと音がするまで矢印の方向にスライドさせます。

キャスターの交換

- イス本体を、安定した所へ横向きに置いてください。
- 脚羽根とキャスターの隙間にマイナスドライバーを差し込み、こじるように動かしてキャスターを外してください。
- 新しいキャスターをしっかりと奥まで差し込んでください。

⚠️ キャスターについての注意事項

- キャスターは消耗品です。破損・異音等の異常が発生した場合は速やかな交換をお勧めします。
- ナイロン双輪キャスターを選ばれた時の注意事項
 - Pタイルのような硬質床でナイロン双輪キャスターを使用すると、キャスターが転がりすぎて転倒して怪我をするおそれがありますので、ゴム単輪キャスターもしくは抵抗付ウレタン双輪キャスターをお選びください。
 - 軟質塩化ビニール床でのナイロン双輪キャスターの使用は避けてください。ナイロン双輪キャスターで床面にキズ・凹みが発生することがあります。

⚠️ ゴム単輪キャスター・抵抗付ウレタン双輪キャスターを選ばれた時の注意事項

- 軟質塩化ビニール床に含まれる可塑剤がゴム単輪キャスターのゴムや抵抗付ウレタン双輪キャスターのウレタン部を侵し、破損・色移り等の不具合が発生する可能性があります。
- 抵抗付ウレタン双輪キャスターのウレタン部は、使用環境により大きくばらつきますが、加水分解により自然に経年劣化します。また、床面のワックス清掃時に使用される剥離剤によっても劣化が促進されますので破損した場合は早めのキャスター交換をおすすめします。

ミレッザ